

(1) 平成 28 年 11 月 1 日 (2016年)

清二流一ズ

御教歌

法の友同じこゝろのまじはりは

いはりがちのふるまひなせそ

宗風 異体同心
 宗門人は、異体同心のけいこ
 を常に心がけ、家庭内の信心
 をます。愚か者でも三人組があり
 増進と役中の結束、僧俗一体
 の本旨を發揮し、弘通の大願
 成就につとめる。

「百喻經」というお経の中の
 話「悪い象に卵を踏みつぶさ
 れた雀は、啄木鳥に訴えまし
 た。「どうか私のうらみを晴
 らして下ささい」。啄木鳥は「苦
 しむ友を見捨てぬが眞の友
 といわれているから力を貸そ
 う」といつて、蟬と蛙の協力
 を得て、悪い象の征伐にかかる
 りました。弱い動物たちは相
 談し、蟬は象の耳にはいり、
 啄木鳥は象の眼をつきまし
 た。盲目になった象は鳴
 き声を出して水の在りかを示
 すようにして、深い穴へ導き
 ました。悪い象は遂に穴へお
 ち込んでしまいました。

このには、弱者同士が自
 分の身を守るために、どう協力
 すれば勝つかそのやり方が説
 かれています。協力は弱者を
 強者にします。

条々として、三つの項目を



日晨上人要語録

異体同心 協力の徳

は仏教では智慧をつかさどる
 お方です。また「膝とも談合」
 とよくいうでしょ。窮して
 む世間の仲間意識で団結する
 のではなく、協力の方法弘通
 のを自指しての協力関係が主
 にこれを破壊することの恐

ります。信者の協力は、た
 られます。信者の協力は、た
 だ派閥を作ったり、徒党を組
 む世間の仲間意識で団結する
 のではなく、協力の方法弘通
 のを自指しての協力関係が主
 にこれを破壊することの恐

うです。日頃相談し合つた

十一月朝參詣強調週間
 第三、第四連合担当

二十日 午後二時 参事会
 廿五日 御総講後教区長会議
 三十日 十時 教尊御命日
 於羽村別院

十一月の御總講日
 一日 十時 御修行日
 日序上人報恩祈念
 於清流寺
 清流ニユーズ編集室
 電話(042)646-1164
 FAX(042)646-0287(代)
 http://seiryujpn.org/

清流ニユーズ

発行所
 八王子市子安町1-22-25
 清流ニユーズ編集室
 電話(042)646-2887(代)
 FAX(042)646-1164
 http://seiryujpn.org/

平成二十八年度最終祈願
 佛立開花運動第四年
 殿尊三十三回御護持報成就之御願
 役中後継者養成・法灯相続促進

弘通年度最終月
 最終月を迎えるに当たり
 本年は、佛立開花運動第四
 年度、殿尊三十三回御護持報成
 導公が展開されて参りました
 が、遂に最終月となりまし
 た。が、遂に最終月となりまし
 た。五千年前しての教化誓願
 は三〇〇個で、あとわずかで
 完成というところまでまいり
 ました。

廿九年の四月の慶讃大法要
 参詣には、胸を張つてお参詣
 されるよう、この一ヶ月間に達成
 されやすらめられた御指南で、協力か
 制を破られた人を厳しく戒めてお

先、その他周囲との関係は
 異体同心の祖訓を奉じご奉公
 すべしなど、口では強調し
 ていても、我慢強く協調精
 神がなく、同心を破るときは、
 世を恨み、人を妬むべきでなか
 りい人は、周囲の人々との
 関係に配慮が足りず、協力か
 制を破られる楽しみを知らない

七日 十時 パースデー總請
 日序上人報恩祈念
 於清流寺
 清流ニユーズ編集室
 電話(042)646-2887(代)
 FAX(042)646-1164
 http://seiryujpn.org/

弘通年度最後月
 最後月の追い込みを!
 早い月を迎えるに当たり
 本年は、佛立開花運動第四
 年度、殿尊三十三回御護持報成
 導公が展開されて参りました
 が、遂に最終月となりまし
 た。が、遂に最終月となりまし
 た。五千年前しての教化誓願
 は三〇〇個で、あとわずかで
 完成というところまでまいり
 ました。

廿九年の四月の慶讃大法要
 参詣には、胸を張つてお参詣
 されやすらめられた御指南で、協力か
 制を破られた人を厳しく戒めてお

ます。愚か者でも三人組があり
 て相談すれば、よい分別があ
 るものという意味 文殊菩薩